

手漉き和紙と張り子と生け花と

お も と

那賀町の動物と万年青展

那賀町は全国で最も多くの農村舞台が残る地域です。拜宮地区は江戸時代からの手漉きの障子紙の産地。そして相生地区の「万年青」は生産量、品質とも日本一。強くしなやかで自然な色合いの和紙を使って、那賀町に住むひとや動物たちをつくりました。お正月の生け花の定番となった万年青を添えて、那賀町の豊かな自然と文化を感じていただきたいと思えます。



2017年1月19日(木)~29日(日) @ 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

【開館時間】 9:30~17:00 【入場料】 一般410円 / 高・大学生300円 / 小・中学生200円

【張り子】 蘭子 【生け花】 草月流・新田隆嘉 【主催】 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

【協力】 那賀町、拜宮和紙・井本紙漉場、那賀町 相生おもと、那賀町地域おこし協力隊

【問合】 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 徳島市川内町宮島本浦184 Tel.088-665-2202 Fax.088-665-3683

awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp <http://joruri.info/jurobe/>